

# 古賀市防災マップ

平成19年10月現在

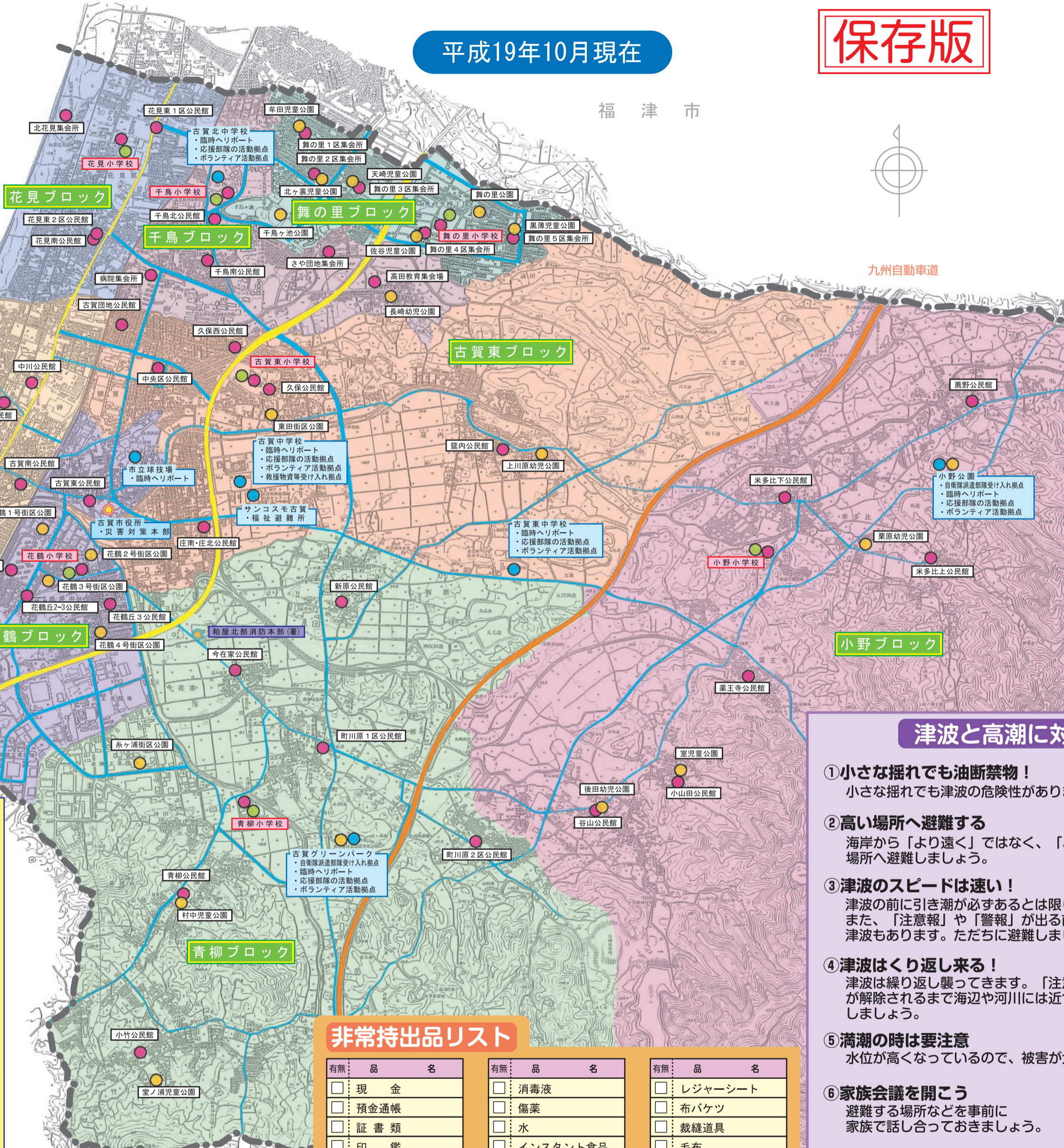
保存版

- ### 凡例
- 古賀市役所
  - 粕屋北部消防本部(署)
  - 広域避難場所
  - 避難所(風水害時)
  - 防災拠点
  - 一時避難所

**広域避難場所**  
各小学校単位での(二次的)避難の目的地となる場所(比較的大規模なスペースを有する学校グラウンドなど)です。

**避難所(風水害時)**  
風水害時に避難者を受け、生活の救済を図る応急生活の場所(学校の校舎・体育館・公民館などの公共施設)です。地震による災害時は広域避難所に避難してください。

**避難圏**  
適正な避難距離を考慮したエリアをいいます。原則として各避難圏にひとつの広域避難場所を設けています。(古賀市では、小学校区の8ブロックに分かれています。)



玄界灘

粕屋郡 新宮町

我が家の避難場所

緊急連絡先

施設名	電話番号
古賀市役所	942-1111
サンコスモ古賀	942-1150
粕屋北部消防署	944-0131
火災・救急	119
粕屋警察署	939-0110
緊急時	110
九州電力	0120-98-6203
古賀市水道課	942-1129
NTT古賀営業所	113
ガス(西部ガス)	631-0919
<b>避難圏</b>	
古賀東小学校	942-3935
古賀西小学校	942-4381
青柳小学校	942-2331
小野小学校	946-2331
花鶴小学校	943-5000
千鳥小学校	944-1341
舞の里小学校	942-0381
花見小学校	943-8282

### 非常持出品リスト

有無	品名	有無	品名	有無	品名
<input type="checkbox"/>	現金	<input type="checkbox"/>	消毒液	<input type="checkbox"/>	レジャーシート
<input type="checkbox"/>	預金通帳	<input type="checkbox"/>	傷薬	<input type="checkbox"/>	布バケツ
<input type="checkbox"/>	証書類	<input type="checkbox"/>	水	<input type="checkbox"/>	裁縫道具
<input type="checkbox"/>	印鑑	<input type="checkbox"/>	インスタント食品	<input type="checkbox"/>	毛布
<input type="checkbox"/>	健康保険証	<input type="checkbox"/>	缶詰	<input type="checkbox"/>	ウェットティッシュ
<input type="checkbox"/>	免許証	<input type="checkbox"/>	万能ナイフ	<input type="checkbox"/>	生理用品
<input type="checkbox"/>	クレジットカード・キャッシュカード	<input type="checkbox"/>	懐中電灯	<input type="checkbox"/>	衣類
<input type="checkbox"/>	10円硬貨・テレホンカード	<input type="checkbox"/>	携帯ラジオ	<input type="checkbox"/>	軍手
<input type="checkbox"/>	常備薬	<input type="checkbox"/>	ライター	<input type="checkbox"/>	洗面用具

### 津波と高潮に対する心得

- 小さな揺れでも油断禁物!**  
小さな揺れでも津波の危険性があります。
- 高い場所へ避難する**  
海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」場所へ避難しましょう。
- 津波のスピードは速い!**  
津波の前に引き潮が必ずあるとは限りません。また、「注意報」や「警報」が出る前に来る津波もあります。ただちに避難しましょう。
- 津波はくり返し来る!**  
津波は繰り返し襲ってきます。「注意報」や「警報」が解除されるまで海辺や河川には近づかないようにしましょう。
- 満潮の時は要注意**  
水位が高くなっているため、被害が大きくなります。
- 家族会議を開こう**  
避難する場所などを事前に家族で話し合っておきましょう。
- 正しい情報を聞く**  
ラジオ・テレビなどで、正しい情報を聞きましょう。
- 津波警報が出たら**  
家族や近所に知らせ、いそいで高台に避難しましょう。

### 地震に備えて

- グラツときたら身の安全!**  
倒れやすい戸棚や本棚からすぐ離れ、丈夫なテーブルや机の下に身を隠しましょう。トイレ・風呂場・押し入れも比較的安全です。
- あわてて外に飛び出さな!**  
どんな大地震でも大揺れは1分程度。あわてて外に飛び出すと、瓦やガラス・看板などの落下で、かえって危険です。
- 揺れがおさまったら火の始末!**  
「火を消せ!」とみんなで声を掛け合い、ガスコンロやストーブなどの火を消しましょう。
- 正しい地震情報に耳をかせ**  
うわさやデマにまどわされないよう、ラジオやテレビなどで正しい情報を聞きましょう。
- 火が出たら初期消火を**  
「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求める。炎や煙にまどわされず、消火器などで火を消しましょう。

### 台風に備えて

- 次の事項を点検しておきましょう。
- ブロック塀にひび割れや破損箇所はないか。
  - 板棚にぐらつきや腐りはないか。
  - プロパンガスボンベは固定されているか。
  - 商店などでは、看板がぐらついていないか。
  - ベランダなどの植木鉢に注意。
  - テレビアンテナの設置状態はよいか。
  - 家の周りを調べ、飛ばされそうなものはすべて室内に取り込むか、固定するなどの飛散防止策を。

### 大雨・集中豪雨に備えて

- 集中豪雨は予測できないことが多いので、大雨情報を聞いたら早めの準備が必要です。避難体制を整えておき、いつでも安全に避難できるようにしましょう。
- ラジオやテレビなどの気象情報にはくれぐれも注意しましょう。
  - 停電に備えて懐中電灯やラジオの用意をしておきましょう。
  - 非常持出品を準備しておきましょう。
  - 避難の道順を決めておきましょう。
  - 危険な箇所を調べておきましょう。

### 災害時伝言ダイヤルの利用方法

「災害時伝言ダイヤル」は、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内やその他の地域の人々との間で伝言の録音・再生をすることができます。

[171]をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。

**伝言の録音方法**

171  
↓  
ガイダンスが流れます  
録音の場合  
1  
↓  
ガイダンスが流れます  
(XXXX)XX-XXXX

**伝言の再生方法**

171  
↓  
ガイダンスが流れます  
再生の場合  
2  
↓  
ガイダンスが流れます  
(XXXX)XX-XXXX

被災地の方も被災地以外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。

**録音**      **再生**

忘れてイナイ(171)?災害伝言171などと覚えてください。